

# 平成26年度

# 雇用動向に関する調査

## ●調査目的

留萌地域では依然として人口減少が続き、経済も低迷を続けている中、一部に明るい兆しもあるが依然雇用環境は大変厳しい状況になっている。こういった中、市内企業における現在の雇用状況や今後の採用方針、更には人材育成に関する、留萌市から委託を受けたこの調査を実施することにより、これからの地元雇用の推進施策の為の参考資料とすることを目的とする。

## ●調査実施期間

平成27年1月19日～2月16日

## ●調査方法

設問は留萌市が作成し、留萌商工会議所が会員事業所647事業所へ調査票を郵送し、回答はFAXで返信していただくか、又は会議所へ届けていただいた。

配布数 647                      回答数 158                      回収率 24.42%

## 調査結果概要

平成22年度調査から5回目となる今回は、回数を重ねることによる逓減と雇用無しによる回答数の減少が危惧されたが、調査票の再送や個別に回答のお願いをした結果、158件24.42%と過去最高の回収率となった。ご協力を頂いた会員企業に厚くお礼を申し上げます。

集計結果を見ると、まづ業種別の正社員の割合では、その他（金融・保険）が83%で一番高く、逆に低いのが製造業の29.5%となった。従業員の年齢構成比は「50歳以上60歳未満」が23.8%で今年も一番多く、次いで「40歳以上50歳未満」、「30歳以上40歳未」の順になった、また「60才以上」も18.7%となり年々その比率が高まり高齢化を裏付けている。また、「20歳未満」1.7%、「20歳以上30歳未満」が13.0%と昨年よりも更に低下し、依然として若年労働者の雇用環境の厳しさが浮き彫りとなった。

設問Ⅱの若年者人材確保について、業種によって傾向が少し異なるが、全体的には③やや不足④全く足りないの比率が年々上昇し今回は初めて6割を超えた。

設問Ⅲの人材育成では教育研修については「計画があり実行している」が41.3%となり年々上昇、厳しい経営環境の中企業の育成意欲が高まってきている。

設問Ⅳ「貴社の人材像について」では今後重要性がより高まると思われる人材の階層については若手層、中堅層、パート・アルバイト層の順になっている。

設問Ⅴ市外の就職希望者の採用については、現在就職している従業員のうち、市外の就職希望者の採用人数については「0人」が63.2%、次いで「1人～3人」が25.6%となっている。

今回の調査では、地域の雇用環境が前回よりも改善傾向ではあるが、アベノミクス効果が本物か、消費税増税後の地域経済情勢にも注意が必要である。

# 調査結果

## I 貴社の業種について

1) 回答事業所の業種及び回答数

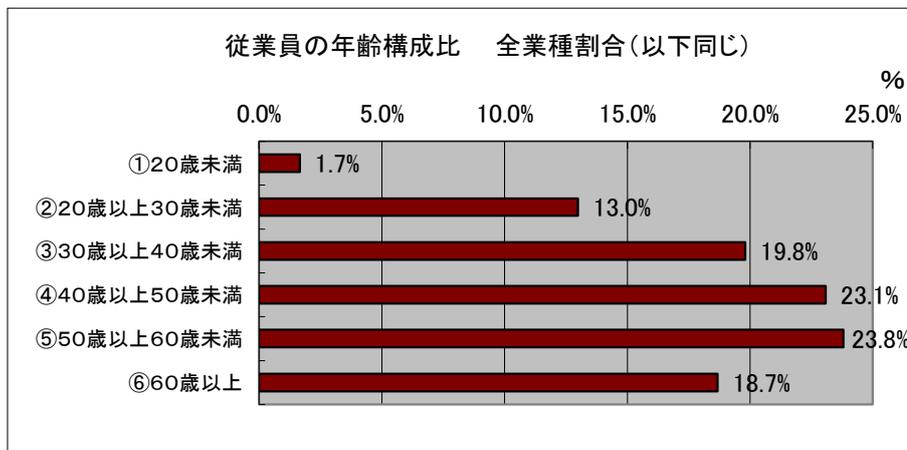
①	建設業	36 枚
②	製造業	21 枚
③	運輸業	9 枚
④⑤	卸・小売業	34 枚
⑥⑦	飲食・サービス業	41 枚
⑧	その他	17 枚
	合計	158 枚

2) 貴社の従業員数を教えてください  
業種ごとの合計数

	従業員数	内正社員	正社員の割合
建設業	662	487	73.6 %
製造業	794	234	29.5 %
運輸業	198	115	58.1 %
卸・小売業	614	399	65.0 %
飲食・サービス業	971	356	36.7 %
その他	412	342	83.0 %
合計	3,651	1,933	52.9 %

3) 貴社の従業員の年齢(回答日現在)について、該当する項目に人数を記入願います。

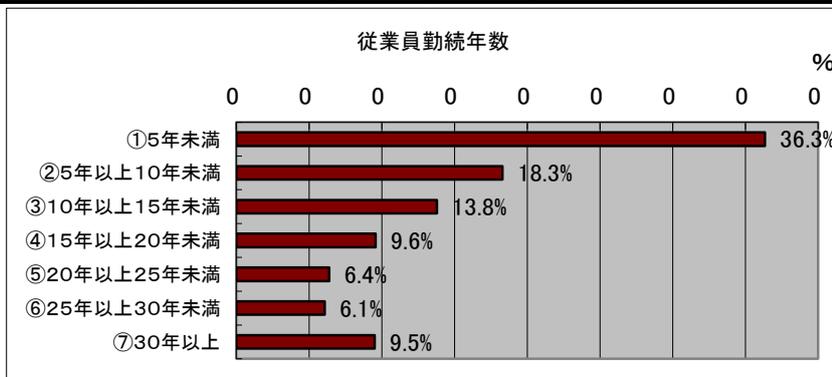
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
① 20歳未満	8	5	1	9	25	9	57	1.7%
② 20歳以上30歳未満	38	72	16	103	106	113	448	13.0%
③ 30歳以上40歳未満	105	113	32	138	199	96	683	19.8%
④ 40歳以上50歳未満	159	149	35	144	231	78	796	23.1%
⑤ 50歳以上60歳未満	198	181	47	95	232	68	821	23.8%
⑥ 60歳以上	142	111	67	112	161	51	644	18.7%



年齢構成比では、①「20歳未満」②「20歳以上30歳未満」合計が14.7%で過去最低となった。又逆に、⑥「60歳以上」が18.7%で過去最高となり、高齢化が一段と進んでいることを裏付けている。

4) 貴社の従業員の勤続年数(回答日現在)について、該当する項目に人数を記入願います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①5年未満	160	175	56	166	416	181	1154	36.3%
②5年以上10年未満	78	110	24	110	173	86	581	18.3%
③10年以上15年未満	67	119	29	83	101	39	438	13.8%
④15年以上20年未満	70	73	17	90	23	31	304	9.6%
⑤20年以上25年未満	81	7	16	67	14	18	203	6.4%
⑥25年以上30年未満	74	43	20	29	10	17	193	6.1%
⑦30年以上	106	47	27	59	20	43	302	9.5%



従業員の勤続年数は、①「5年未満」が一番多く、②「5年以上10年未満」をあわせると54.6%で半数を超える。

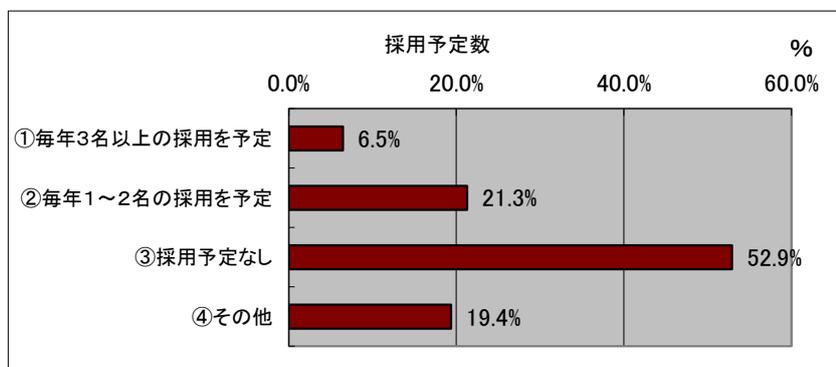
5) 貴社の近年の採用数(正社員)についてお尋ねします。該当する項目に人数を記入願います

	1	2	3	4	5	6	A
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)
①平成26年4月以降	22	6	9	23	58	46	164
うち高校新卒	8	1	1	6	3	14	33
大学・専門学校新卒	1			7	3	11	22
中途採用	13	5	8	10	52	21	109
②平成25年4月から平成26年3月	20	18	10	23	31	32	134
うち高校新卒	3	4		6	3	18	34
大学・専門学校新卒	1	5	1	13	1	3	24
中途採用	16	9	9	4	27	11	76
③平成24年4月から平成25年3月	13	4	3	25	25	28	98
うち高校新卒	1	2		1		8	12
大学・専門学校新卒				15	1	7	23
中途採用	12	2	3	9	24	13	63
④平成23年4月から平成24年3月	11	3	2	20	23	26	85
うち高校新卒	3	1			4	9	17
大学・専門学校新卒	1			14	2	2	19
中途採用	7	2	2	6	17	15	49
⑤平成22年4月から平成23年3月	12	2	21	19	19	46	119
うち高校新卒		1				10	11
大学・専門学校新卒		1		13	1	6	21
中途採用	12		21	6	18	30	87

近年正社員の採用数が増加、昨年は中途採用も増え、企業の人材不足が顕著になってきている。

6) 貴社の今後3～5年を目処とした採用予定数（正社員）について、該当するもの1つに○を付けてください。

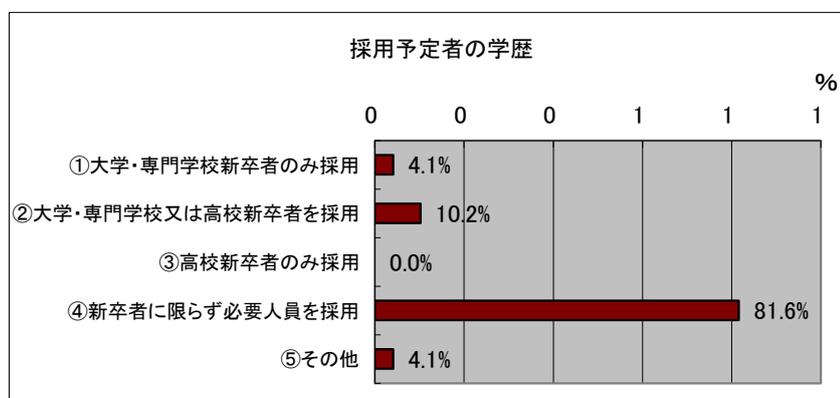
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①毎年3名以上の採用を予定				3	4	3	10	6.5%
②毎年1～2名の採用を予定	12	3	2	6	9	1	33	21.3%
③採用予定なし	16	12	5	16	24	9	82	52.9%
④その他	8	6		5	3	8	30	19.4%



採用予定なしが依然多いが、①「3名以上」と②「1～2名」の採用予定企業が27.8%と昨年より10%以上増加した。

7) 前質問6)で①又は②と回答された方にお尋ねします。採用予定者の学歴について記入願います。

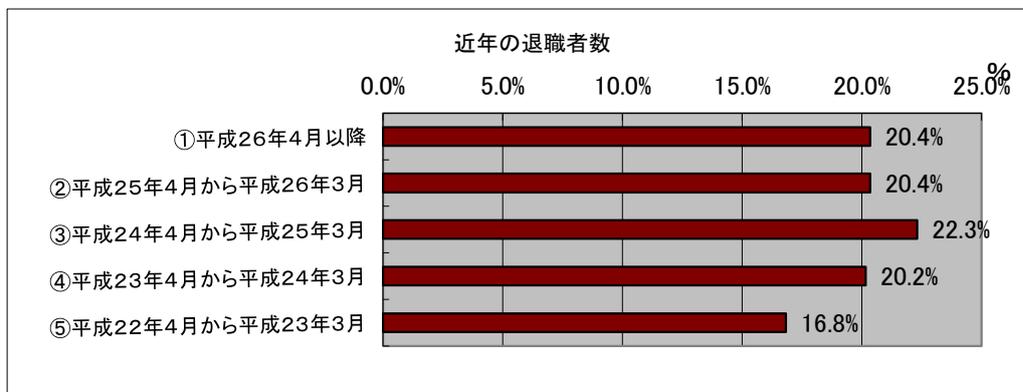
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大学・専門学校新卒者のみ採用	1			1			2	4.1%
②大学・専門学校又は高校新卒者を採用	2			1		2	5	10.2%
③高校新卒者のみ採用							0	0.0%
④新卒者に限らず必要人員を採用	10	4	2	8	15	1	40	81.6%
⑤その他		1				1	2	4.1%



今後3～5年を目処とした採用予定者の学歴についての設問だが、④の新卒者に限らず必要人員を採用が81.6%と昨年よりも増加が一番多くなっている。

9) 貴社の近年の退職者数(正社員)について、該当する項目に人数を記入願います。

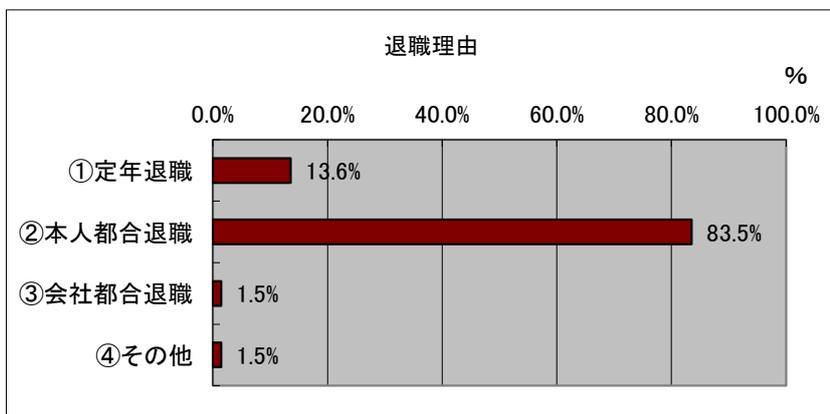
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①平成26年4月以降	16	9	8	27	25	19	104	20.4%
②平成25年4月から平成26年3月	16	10	10	18	27	23	104	20.4%
③平成24年4月から平成25年3月	16	13	12	30	15	28	114	22.3%
④平成23年4月から平成24年3月	17	7	5	30	15	29	103	20.2%
⑤平成22年4月から平成23年3月	13	4	7	24	14	24	86	16.8%



近年の退職者数であるが③平成24年4月～平成25年3月が22.3%で最も多くなっている。

10) 前質問9)の退職者について、その理由について、該当する項目に人数を記入願います。

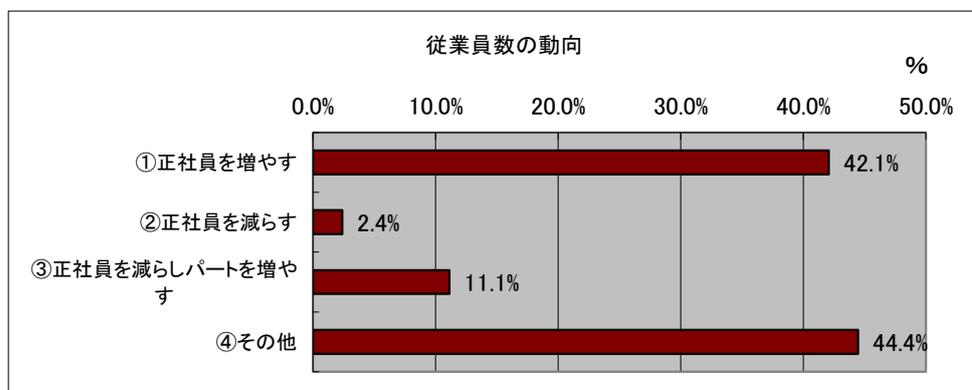
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①定年退職	26	15	1	10	5	8	65	13.6%
②本人都合退職	45	24	41	119	81	90	400	83.5%
③会社都合退職	4			1	2		7	1.5%
④その他	2	1		2	1	1	7	1.5%



退職理由は、②「本人都合退職」が一番多くなっているが、①「定年退職」も昨年より増えている。

11) 貴社の今後の従業員数の動向についての予定について該当するもの1つに○を付けてください。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①正社員を増やす	14	3	3	11	17	5	53	42.1%
②正社員を減らす				1	2		3	2.4%
③正社員を減らしパートを増やす	1	4	2	5	2		14	11.1%
④その他	12	12	2	10	8	12	56	44.4%

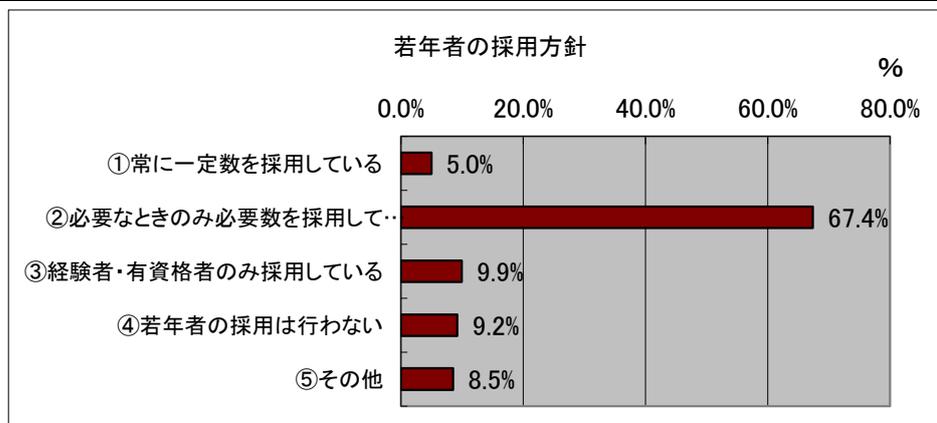


従業員の動向について、④「その他」で”現状維持”が今回も一番多かったが、①「正社員を増やす」が42.1%で昨年より15%高くなった。

## II 貴社の若年者(34歳まで)採用について

1) 若年者の採用方針についてお尋ねします。該当するもの1つに○を付けてください。

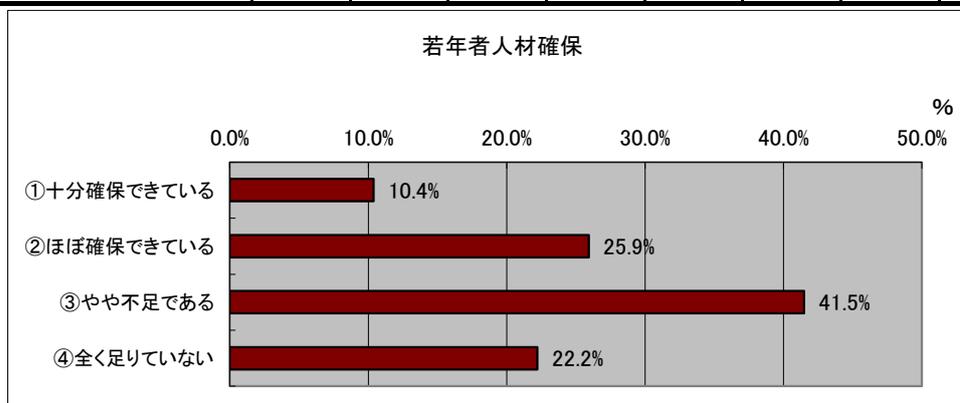
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①常に一定数を採用している	1		1	2	3		7	5.0%
②必要なときのみ必要数を採用している	23	16	4	19	20	13	95	67.4%
③経験者・有資格者のみ採用している	4		2	3	4	1	14	9.9%
④若年者の採用は行わない	4	3		3	2	1	13	9.2%
⑤その他	2	2	1	2	3	2	12	8.5%



若年者の採用方針については②の必要なときのみ必要数を採用している、が67.4%で今回も最も多くなっている。

2) 現在の若年者人材確保について、該当するもの1つに○を付けてください。

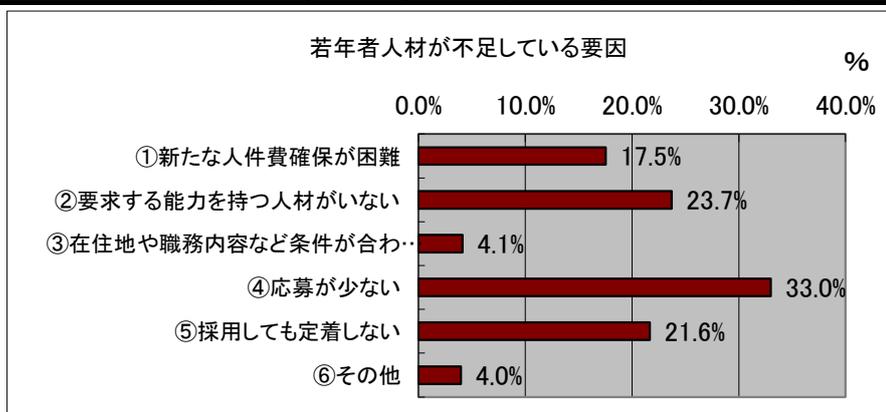
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①十分確保できている	3	1	1	5	2	2	14	10.4%
②ほぼ確保できている	8	2	1	8	8	8	35	25.9%
③やや不足である	15	10	3	8	15	5	56	41.5%
④全く足りていない	7	3	2	9	9		30	22.2%



全体では、③「やや不足」と④「全く」をあわせると63.7%となり、三分の二が若年者の人材不足感を持っている。

3) 前質問2)で③、④を回答した方にお尋ねします。若年者人材が不足している要因として該当するもの1つに○を付けてください。

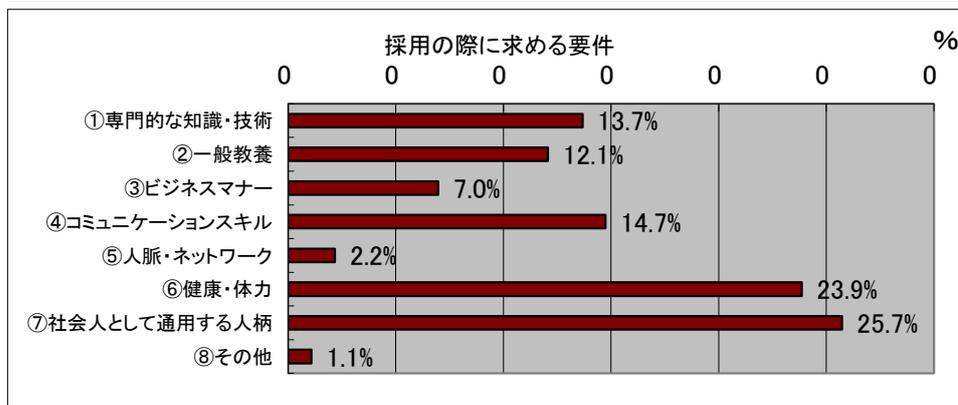
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①新たな人件費確保が困難	4	1	1	2	7	2	17	17.5%
②要求する能力を持つ人材がいない	7	6		4	5	1	23	23.7%
③在住地や職務内容など条件が合わない	1	1		1	1		4	4.1%
④応募が少ない	8	3	1	8	11	1	32	33.0%
⑤採用しても定着しない	6	5	3	3	3	1	21	21.6%
⑥その他	2				2		4	4.0%



若年者の人材が不足している要因としては、④応募が少ないが一番多く、②の要求する能力を持つ人材がいない、と合わせるとやはりミスマッチが多いと思われる。

4) 採用の際に特に求める要件(採用するための条件)について、該当するもの3つまでに○を付けてください。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①専門的な知識・技術	19	5	4	6	14	3	51	13.7%
②一般教養	4	10	2	10	10	9	45	12.1%
③ビジネスマナー	2	3	4	11	5	1	26	7.0%
④コミュニケーションスキル	10	5	2	15	14	9	55	14.7%
⑤人脈・ネットワーク	2			3	1	1	7	2.2%
⑥健康・体力	22	13	6	15	24	9	89	23.9%
⑦社会人として通用する人柄	21	17	5	22	20	11	96	25.7%
⑧その他	2	1		1			4	1.1%

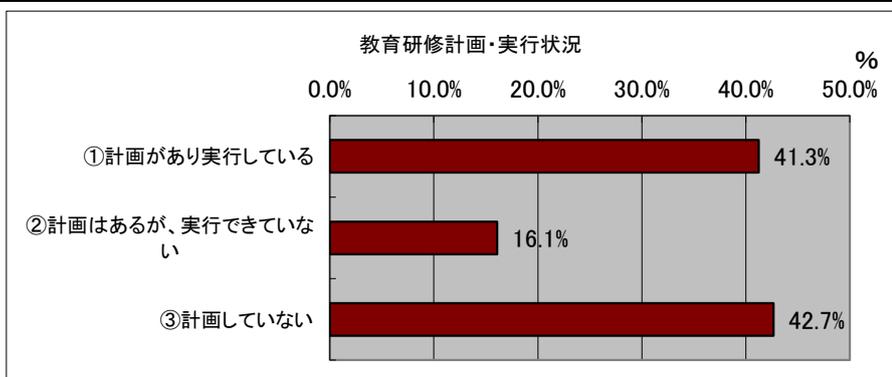


若年者に求める要件は、今回初めて⑦「社会人として通用する人柄」が一番となり、⑥「健康・体力」とあわせると約半数となり、特別な技能より基本的な社会性を重要視している。

### Ⅲ 人材育成について

1) 貴社の教育研修についてお尋ねします。該当するもの1つに○を付けてください。

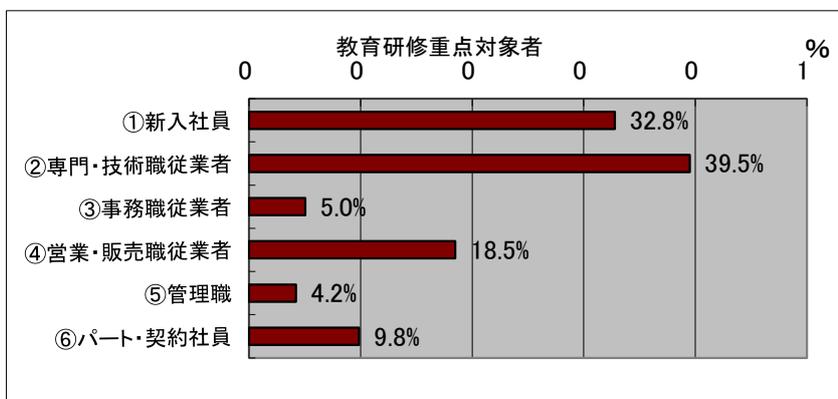
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①計画があり実行している	9	5	5	16	12	12	59	41.3%
②計画はあるが、実行できていない	5	4	1	3	10		23	16.1%
③計画していない	18	11	1	12	14	5	61	42.7%



厳しい経営環境の中でも、年々研修を実施している企業が増えてきていて、今回4割以上が何らかの研修を実施している。

2) 教育研修を重点的に行っていきたい対象者について、該当するもの1つに○を付けてください。

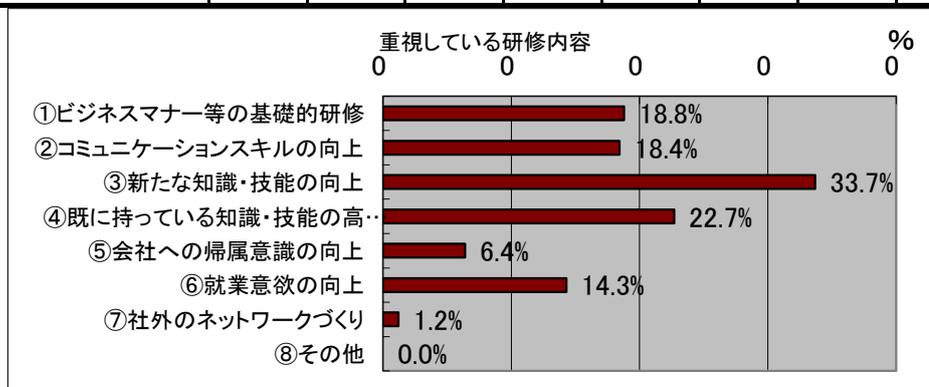
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①新入社員	5	5	3	5	13	8	39	32.8%
②専門・技術職従業者	20	3	5	4	13	2	47	39.5%
③事務職従業者	1			1		4	6	5.0%
④営業・販売職従業者		3		13	3	3	22	18.5%
⑤管理職				2	3		5	4.2%
⑥パート・契約社員	1	4		2	6		13	9.8%



教育研修を重点的に行っていきたい対象者としては②専門・技術職従業者、①新入社員、④営業・販売職従業員の順になっている。

3) 教育研修で特に重視している(重視したい)研修内容について、お尋ねします。該当するもの3つまでに○を付けてください。

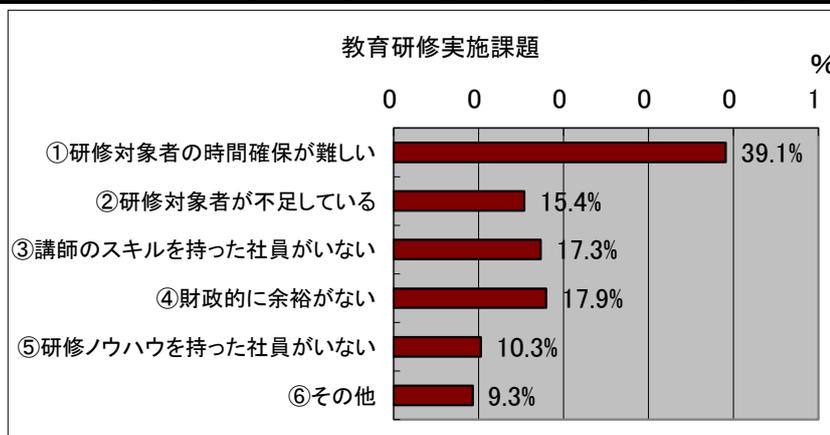
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①ビジネスマナー等の基礎的研修	7	8	5	16	11	6	53	18.8%
②コミュニケーションスキルの向上	10	4		15	15	8	52	18.4%
③新たな知識・技能の向上	23	12	5	19	23	13	95	33.7%
④既に持っている知識・技能の高度化	14	9	4	10	19	8	64	22.7%
⑤会社への帰属意識の向上	4	2	1	6	4	1	18	6.4%
⑥就業意欲の向上	13	11	5	6	12		47	14.3%
⑦社外のネットワークづくり	1	1		1	1		4	1.2%
⑧その他							0	0.0%



重視している研修内容では③の新たな知識・技能の向上、④既に持っている知識・技能の高度化が上位で、やはり知識・技能が重視されている。

4) 教育研修を実施する際の課題について、該当するもの全てに○を付けてください。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①研修対象者の時間確保が難しい	16	8	6	12	15	4	61	39.1%
②研修対象者が不足している	5	3	1	9	5	1	24	15.4%
③講師のスキルを持った社員がいない	8	5	2	7	4	1	27	17.3%
④財政的に余裕がない	6	7	1	6	7	1	28	17.9%
⑤研修ノウハウを持った社員がいない	8			3	5		16	10.3%
⑥その他	2	2		3	2	7	16	9.3%

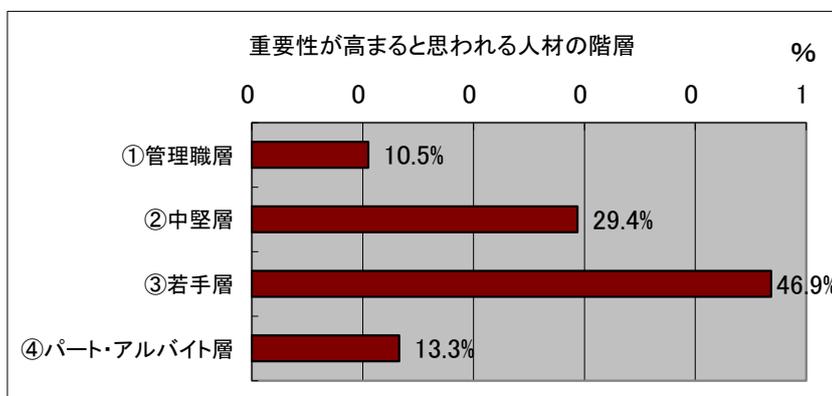


実施課題では①研修対象者の時間確保が難しいが39.1%と最も多くなっている。実施には時間的・財政的課題が大きいようだ。

#### IV 貴社の人材像について

1) 今後、重要性がより高まると思われる人材の階層について、該当するもの1つに○を付けてください。

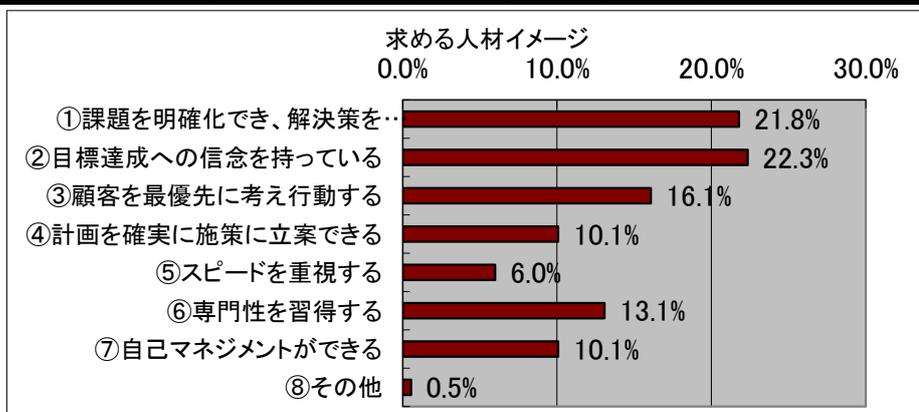
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①管理職層	3		1	2	7	2	15	10.5%
②中堅層	7	5	2	12	11	5	42	29.4%
③若手層	21	9	2	14	13	8	67	46.9%
④パート・アルバイト層	2	7	2	3	5		19	13.3%



今後重要性がより高まると思われる人材の階層については③若手層の比率が年々高まってきている。

2) 貴社が特に求める人材イメージについて、該当するもの3つまでに○を付けてください。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①課題を明確化でき、解決策を考える	19	12	7	16	17	9	80	21.8%
②目標達成への信念を持っている	19	10	4	18	22	9	82	22.3%
③顧客を最優先に考え行動する	10	5	5	13	16	10	59	16.1%
④計画を確実に施策に立案できる	9	8	3	10	4	3	37	10.1%
⑤スピードを重視する	5	3		5	6	3	22	6.0%
⑥専門性を習得する	15	4	3	7	15	4	48	13.1%
⑦自己マネジメントができる	8	5		8	13	3	37	10.1%
⑧その他	1					1	2	0.5%

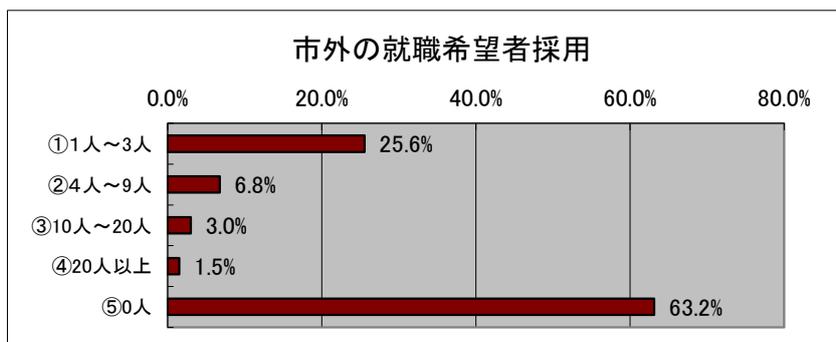


特に求める人材イメージは②「目標達成への信念を持っている」①「課題を明確化でき、解決策を考える」が多く、次いで③の順になっている。

## V 貴社の市外の就職希望者の採用について

1) 現在、就業している従業員のうち、市外の就職希望者の採用人数についてお尋ねします。該当するもの1つに○を付けてください。

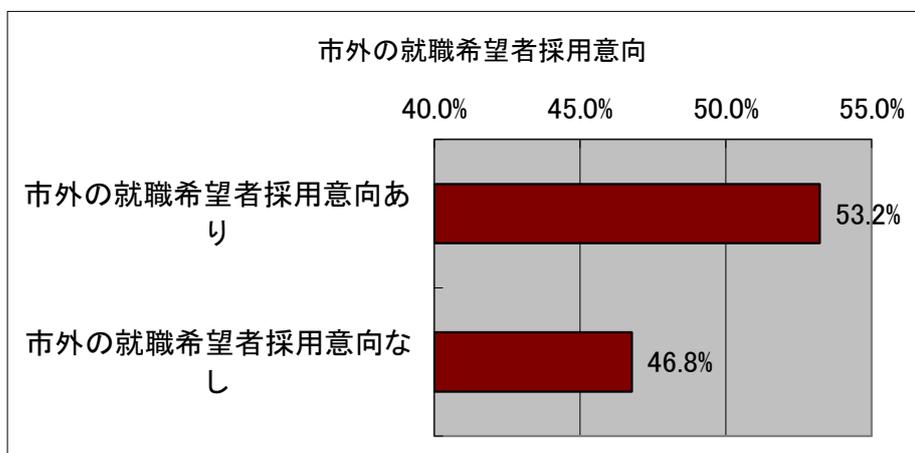
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①1人～3人	7	6	1	7	10	3	34	25.6%
②4人～9人	1	1	1	1	5		9	6.8%
③10人～20人		1	1		1	1	4	3.0%
④20人以上	1					1	2	1.5%
⑤0人	22	11	4	20	16	11	84	63.2%



現在就業している従業員のうち、市外の就職希望者の採用人数については⑤0人が63.2%、次いで①1人～3人が25.6%となっている。

3) 今後、市外の就職希望者の採用意向はありますか。該当するもの1つに○を付け、その理由をお書きください。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サー ビス業	その他	全業種 (合計)	全業種 割合
市外の就職希望者採用意向あり	17	7	2	11	20	9	66	53.2%
市外の就職希望者採用意向なし	11	12	3	14	13	5	58	46.8%



今後の市外の就職希望者の採用意向はありますか、の問だが今回初めて意向ありが53.2%となり、過半数を超えた。